

荻野地区における学校の適正規模・適正配置の方策の取組状況について

1 趣旨

令和6年4月の教育委員会定例会において、荻野地区の3小学校を1校又は2校に統廃合する方向性を定めた。

今後、統合先となる学校敷地の選定など、具体的な方向性の決定に向け、検討を進めていく。

2 検討案について

(1) 検討案

検討案として提示している案は次のとおり

No	統合案	統合先の敷地
①	1校に統合	荻野小学校
②		鳶尾小学校
③	2校に統合	鳶尾小学校と上荻野小学校

(2) 小中一貫教育の視点について

荻野地区において新しい学校づくりを進めるに当たっては、今年度4月に策定した「厚木市における小中一貫教育の在り方」を踏まえ、9年間を見据えた系統的な教育の推進に向け検討を進める。また、ハード面では、荻野地区で小中一貫教育を進める上で、どのような施設がふさわしいのか、学校施設の在り方について検討を進める。

3 公共施設個別施設計画の見直しについて

学校施設の在り方を検討するに当たっては、公共施設の最適化に向けた個別施設ごとの対応方針を定めた「市公共施設個別施設計画※」との整合性を図ることが必要となるが、令和8年度中に計画を見直すことが決定した。それに伴い、具体的な方策の決定については、計画見直し後の令和9年度中を目標に進めるものとする。

※公共施設個別施設計画…公共施設等のより効率的かつ効果的な維持管理・運営方法及び適正配置を行うことを目的とした公共施設最適化基本計画に基づき、公共施設ごとの具体的な対応方針を定める計画として、公共施設の現状を整理した上で、対策に係る優先順位の考え方、対策内容及び実施時期を定めるもの

4 今後の取組について

(1) 今年度の取組について

地区住民や保護者に対しては、意見交換会等をとおして、今年度中に方策の方向性を決定する予定であると周知しているが、公共施設個別施設計画の見直し結果を踏まえ、学校施設の在り方を検討する必要があることから、検討が予定より遅れている旨を周知した。(別紙：周知資料)

① 取組の周知状況について

周知対象	周知手法
荻野地区自治会連絡協議会	自治会連絡協議会での資料説明、自治会での回覧
学校運営協議会(対象3校)	学校運営協議会での資料説明
児童保護者	児童をとおして全保護者へ周知資料配布
未就学児保護者	未就学児が居住する全世帯へ周知資料を郵送

② 説明の際に挙げた御意見について

御意見等
【自治会連絡協議会】 ・廃校となった学校はどうなるのか。 ・施設の維持管理費が莫大になると聞いているので、資料に掲載してほしい。 ・取組が遅れるということなのか。 ・他の地区の取組はどうなっているか。 【学校運営協議会】 ・実際に統廃合を実施するのは何年後になるのか。 ・地域の関心も高まっているため、地域住民の声は十分に聞いてほしい。 【児童保護者・未就学児保護者】 問合せ等なし

(2) 来年度以降の取組について

来年度以降、見直しを予定する公共施設個別施設計画において、学校の適正規模・適正配置や小中一貫教育の在り方を踏まえた荻野地区における学校施設の整備内容・時期を改めて位置付けるべく調整していく。

見直された施設計画を踏まえ、改めて荻野地区における適正規模・適正配置の方策を含めた“新しい学校づくり”の内容について、保護者、地域住民等への意見交換会を実施し、具体的な内容を定めていく。

【スケジュール(案)】

年度	内容
R 7～8年度	公共施設個別施設計画改定作業
R 9年度	荻野地区の“新しい学校づくり”の方向性に係る意見交換会の開催及び方向性の決定
R10年度～	荻野地区の“新しい学校づくり”に係る諸計画策定に向けた取組の推進